



FTPアダプタのご紹介

目次

■ FTPアダプタ

- FTPアダプタとは
- 連携イメージ
- 利用イメージ
- アダプタ機能一覧
 - ・ リストとデータの読み取り処理
 - ・ リストのみの読み取り処理
 - ・ 更新処理
 - ・ 削除処理
 - ・ リネーム処理

■ FTPサーバ

- FTPサーバ機能とは
- FTPサーバの設定
- FTPサーバの設定機能一覧
- FTPサーバ設定
- SFTPサーバ設定
- 起動と停止

FTPアダプタ

FTPアダプタとは

■ FTPクライアントとして動作するためのアダプタ

RFC 1123に準拠したFTPサーバまたはFTP over SSL/TLSサーバと業務システムのデータ連携を実現します。

● ポイント

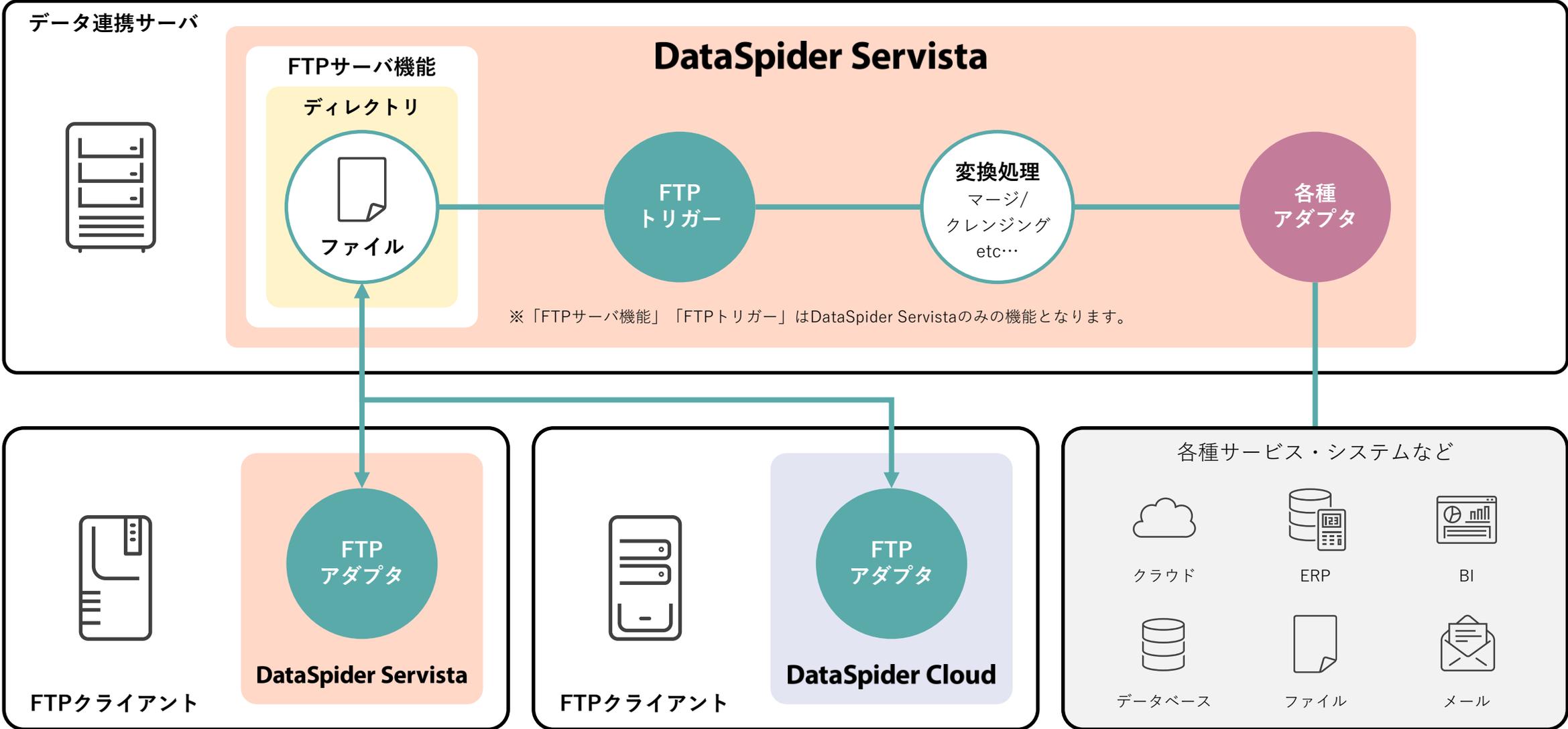
DataSpiderなら、FTPアダプタを利用して読み取り・書き込みなどの操作が可能です。

- **クライアントとしてFTP/SFTPサーバとのデータ送受信とファイル操作が可能**
 - 外部のFTPサーバのファイルを利用したデータ連携処理
 - 外部のFTPサーバにDataSpiderで作成したファイルを置くなどの処理

※注意事項

- DataSpider Servista Select ライセンス版とBasic Server Package 版には、標準ではFTPアダプタは同梱されておりません。ご利用いただく場合は、FTP アダプタをご購入いただく必要がございます。
- 本アダプタは、FTPサーバまたはFTP over SSL/TLSサーバに接続する場合、RFC 1123に準拠したサーバを想定しています。RFC 1123に準拠していないサーバへの接続を行った場合には、処理に失敗することがあります。
- SSHバージョン1には対応していません。

連携イメージ

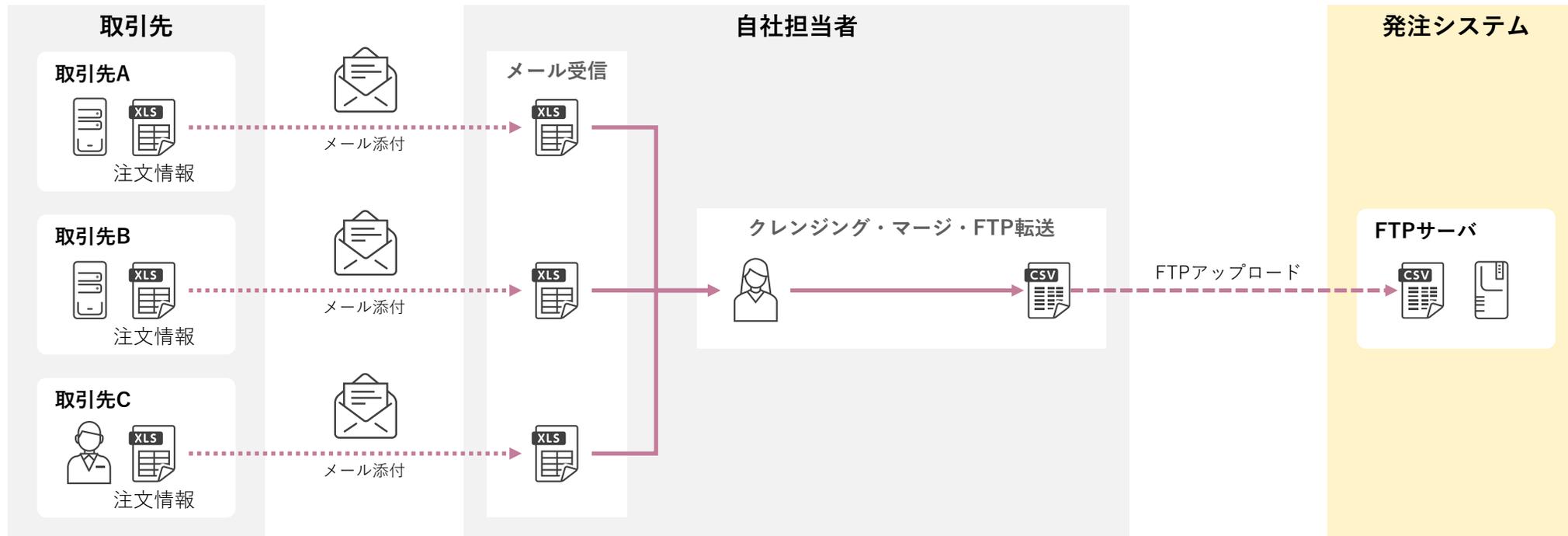


利用イメージ (課題)



取引先からの注文データをメール添付で受け取り、手作業で集約を行っているが、手間や工数削減のため、全てシステム化できないだろうか。

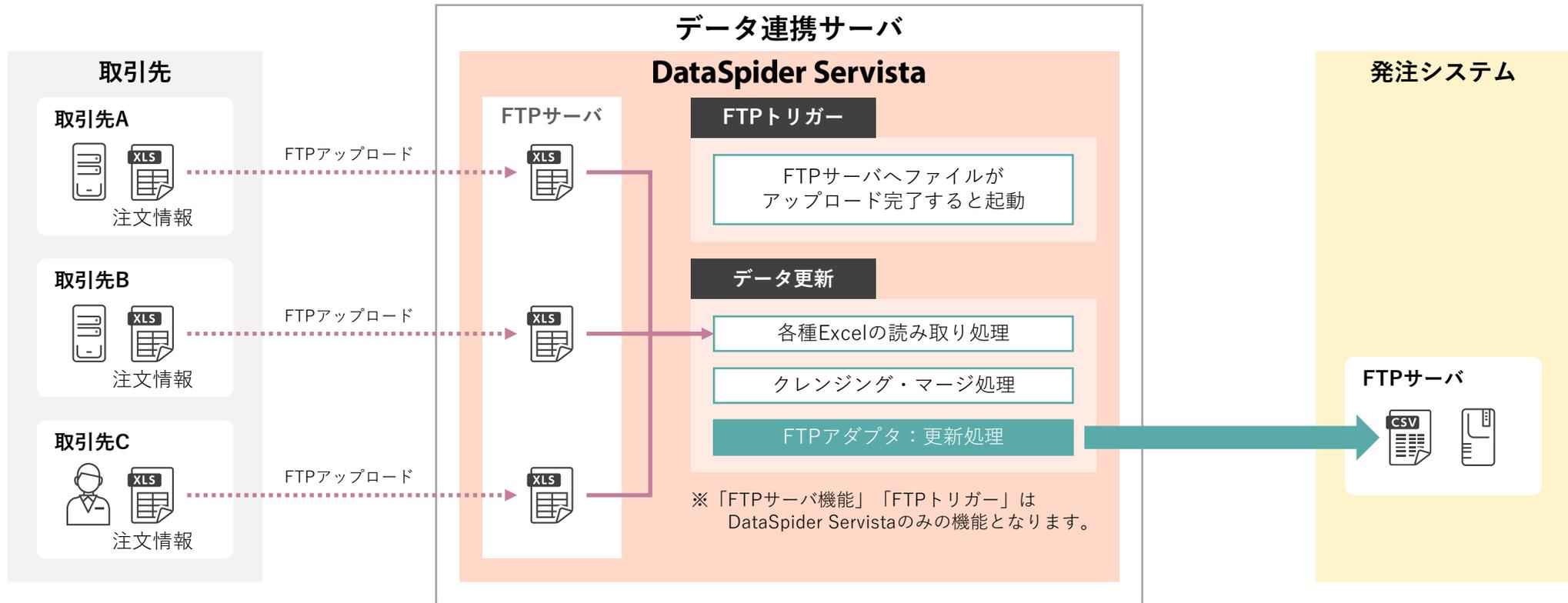
毎日取引先からフォーマットの異なる注文情報をメールで受け取り、手作業で集約作業を行い発注システムへ転送している。人的な集計ミスをなくし、工数を削減したい。



利用イメージ (解決)



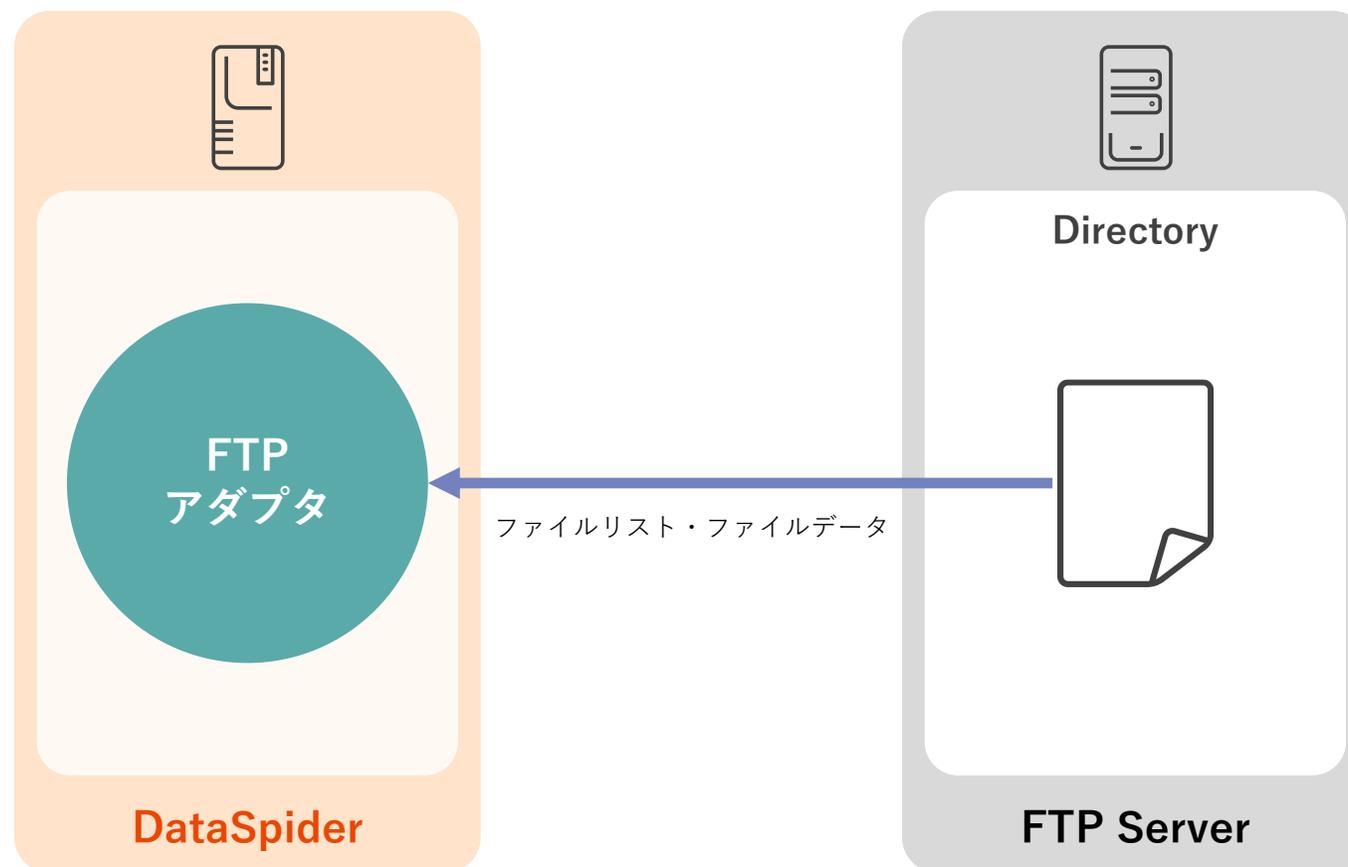
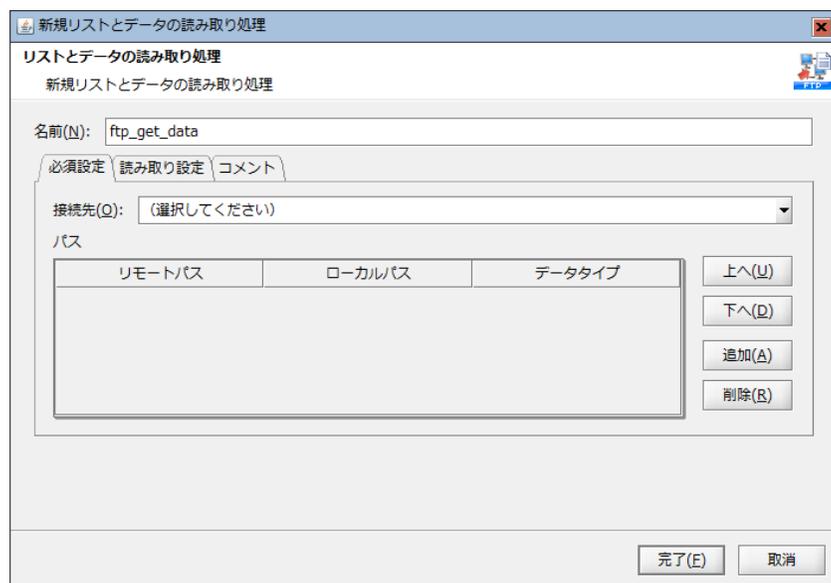
取引先毎のフォーマット差異をDataSpider Servistaで吸収し、
クレンジング・マージ・発注システムへのアップロードまでを自動処理しました。



種別	名称	概要説明
処理	リストとデータの読み取り	ファイルのリストとファイルの内容を取得します。
	リストのみの読み取り	ファイルのリストを取得します。
	更新	DataSpiderファイルシステム上にあるファイルを指定し、FTPサーバに転送します。
	削除	FTPサーバ上にあるファイルを指定して削除します。
	リネーム	FTPサーバ上にあるファイルを指定してリネームします。

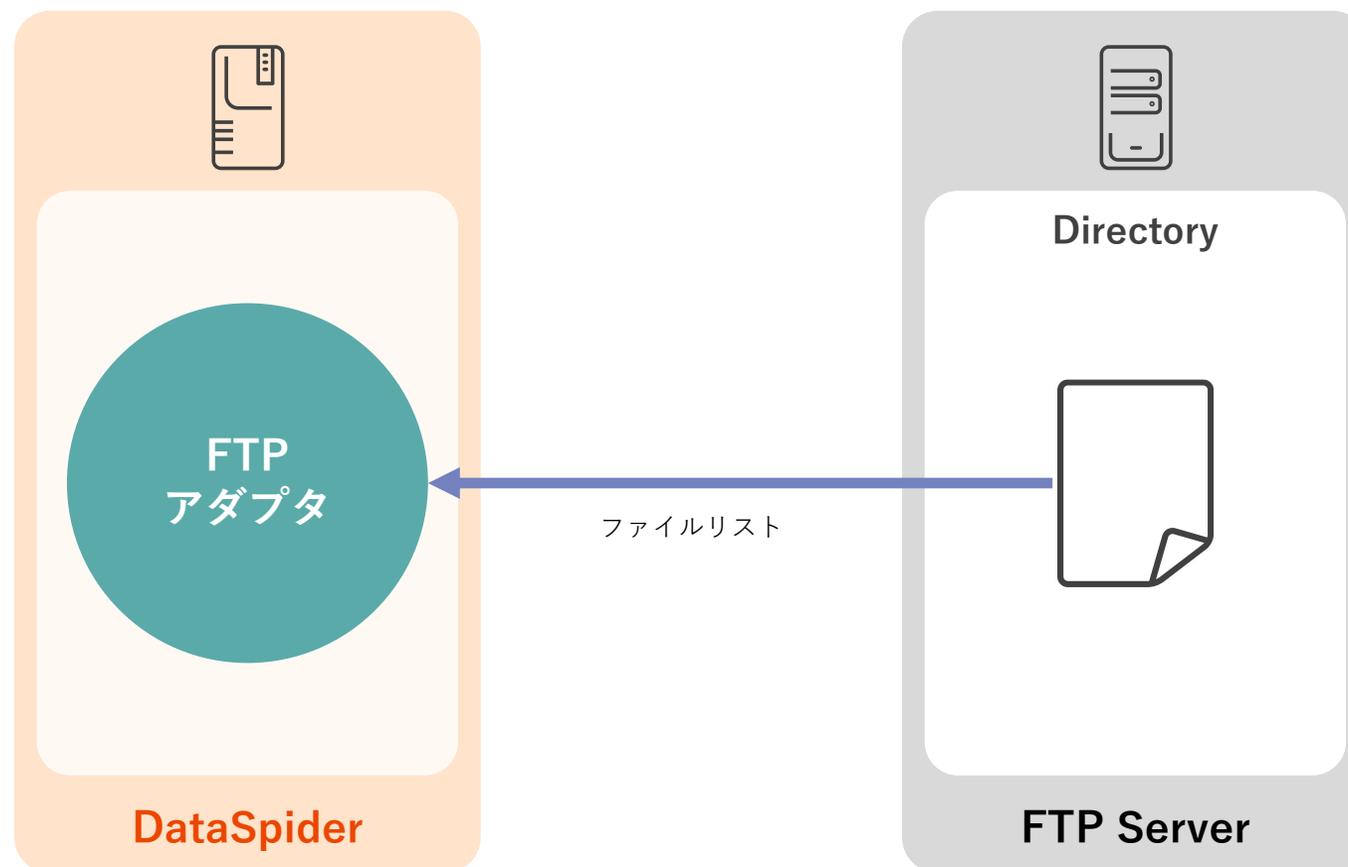
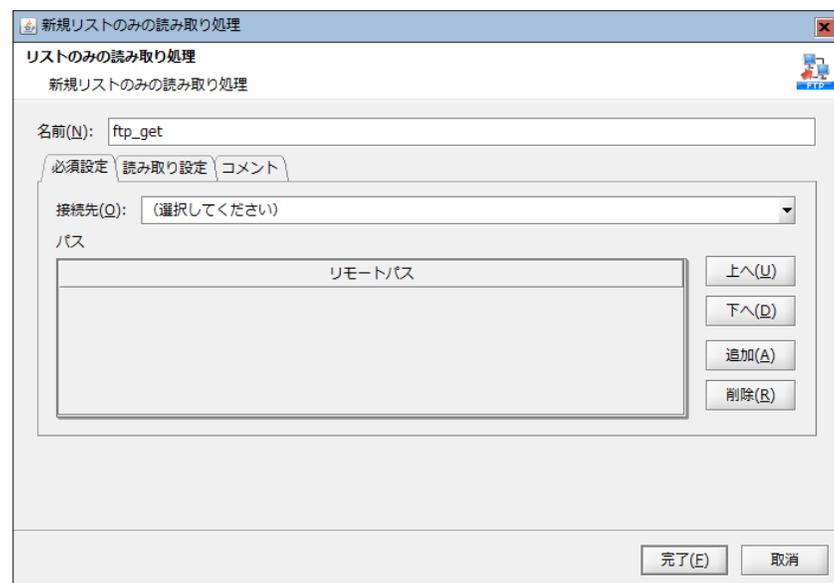
リストとデータの読み取り処理

FTPサーバ上にあるファイルのリストとファイルの内容を取得します。



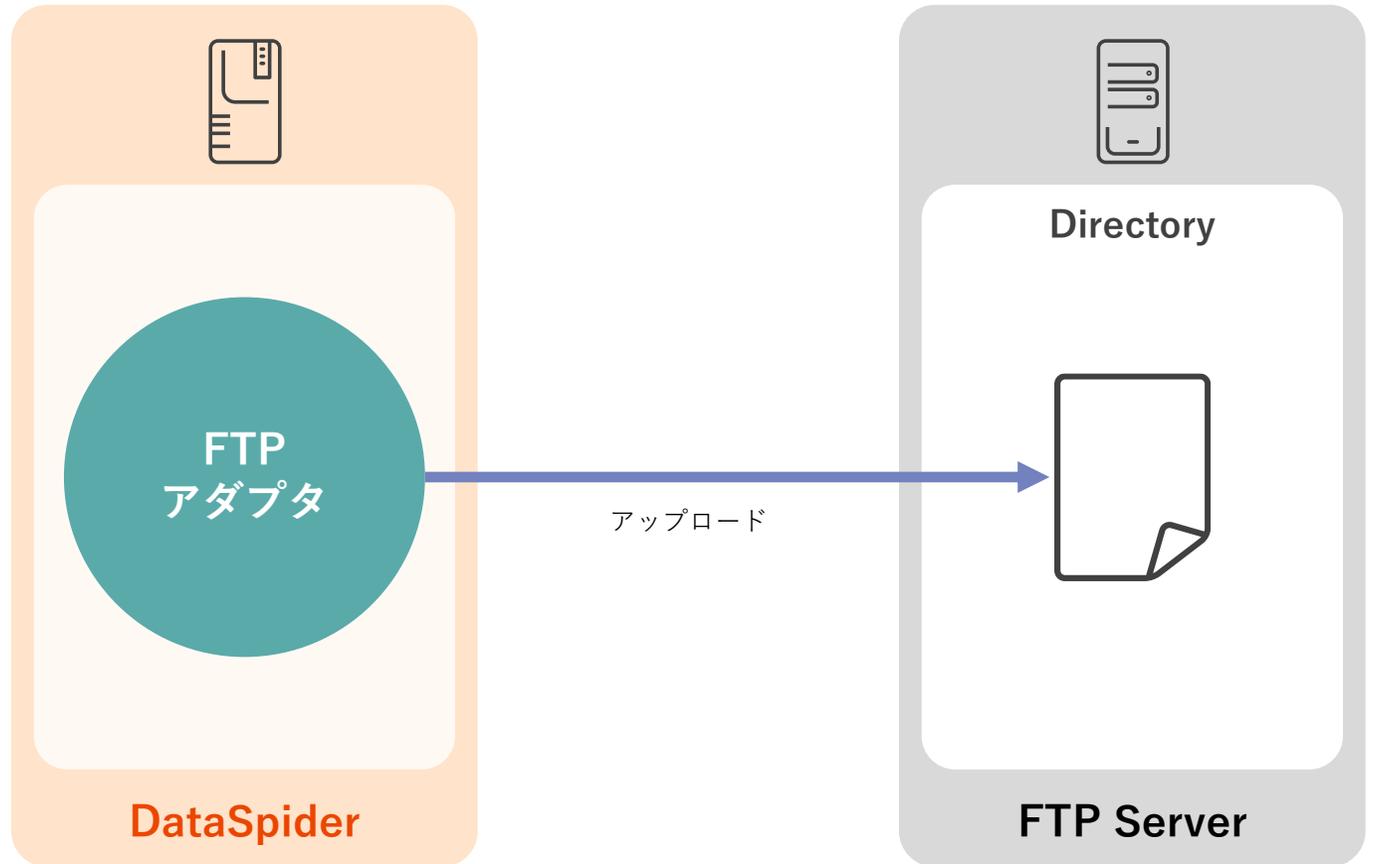
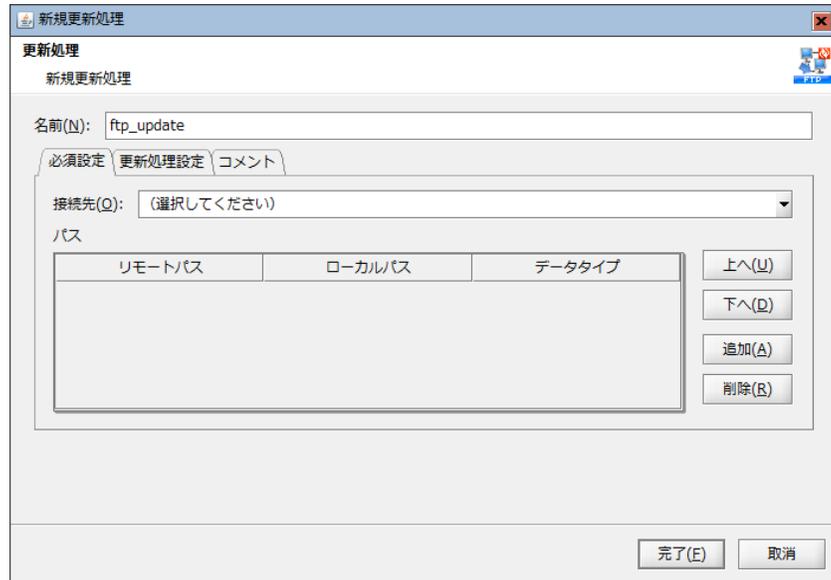
リストのみの読み取り処理

FTPサーバ上にあるファイルのリストを取得します。



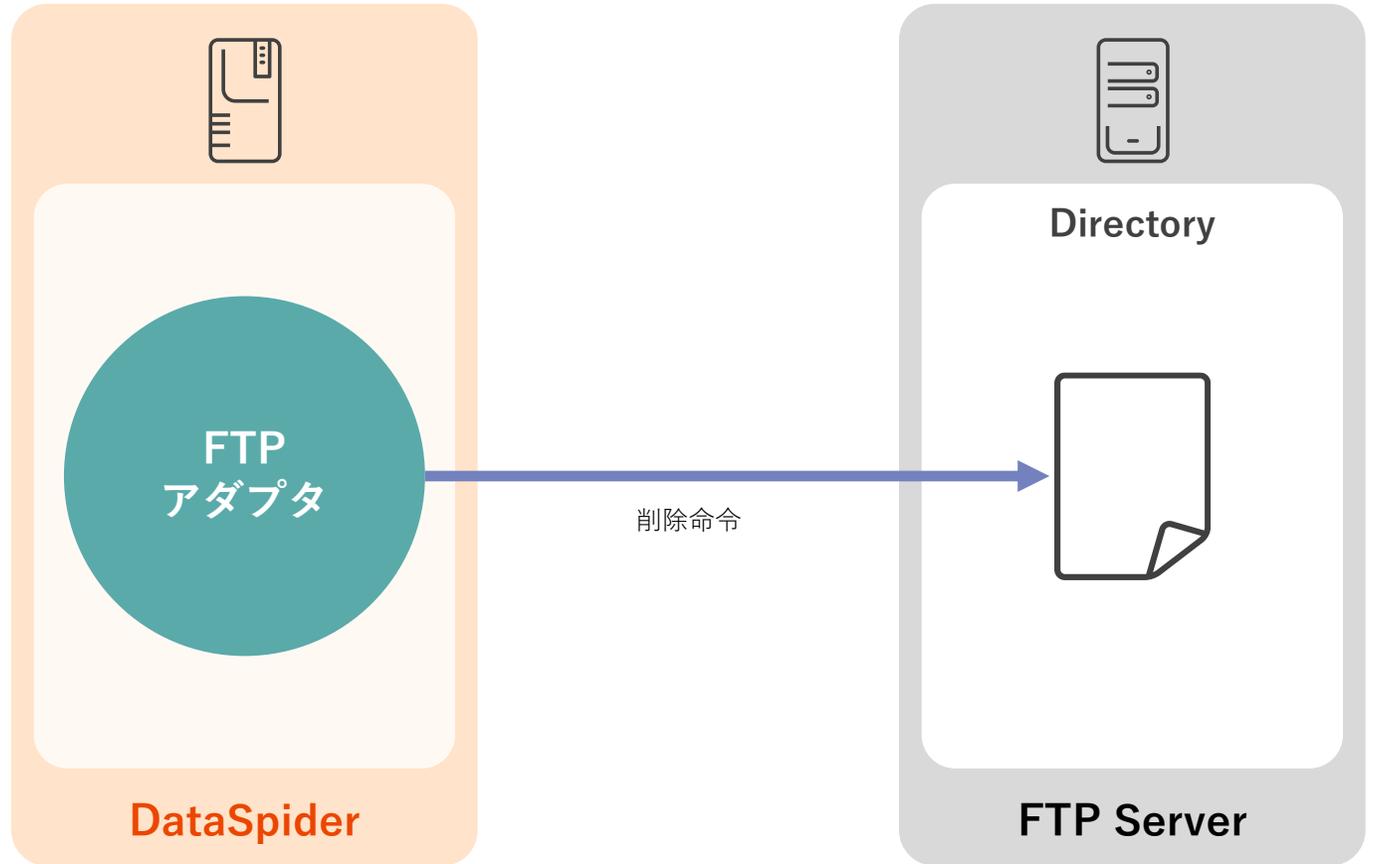
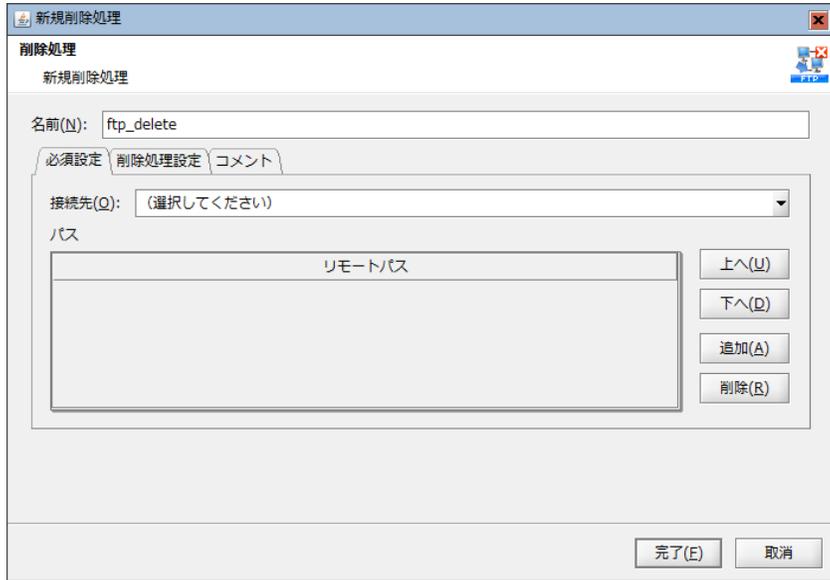
更新処理

DataSpiderファイルシステム上にあるファイルを指定してFTPサーバに転送します。



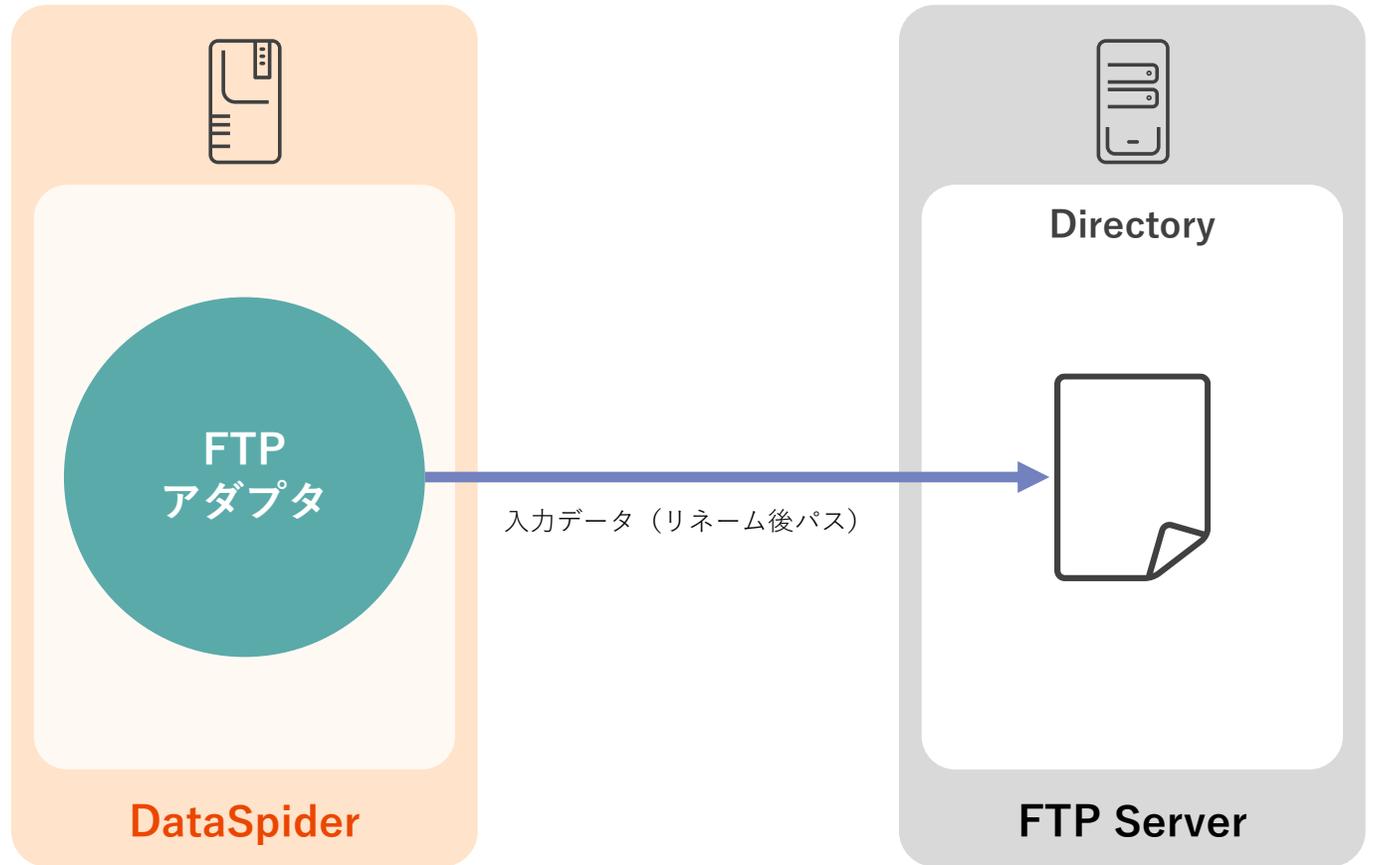
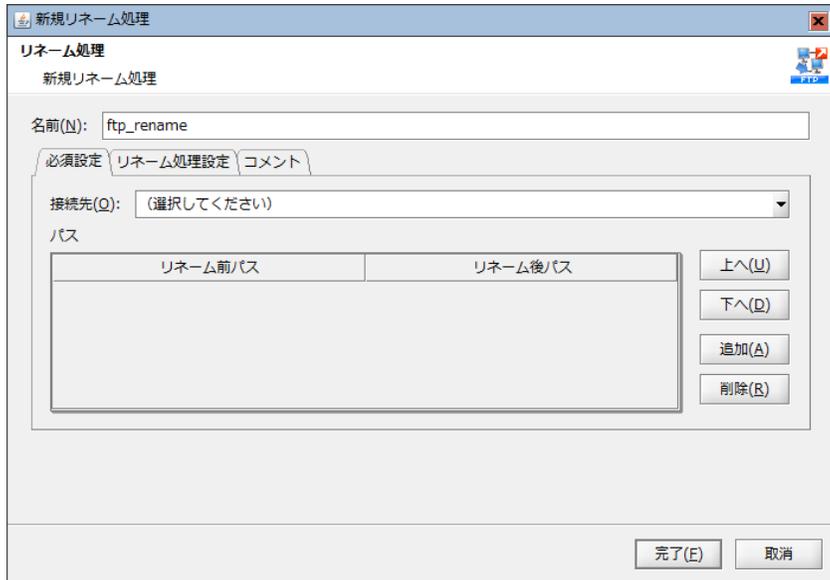
削除処理

FTPサーバ上にあるファイルを指定して削除します。



リネーム処理

FTPサーバ上にあるファイルを指定してリネームします。



FTPサーバ

FTPサーバ機能とは

■ FTPサーバ機能を備えています

DataSpider ServistaはFTPサーバとしての機能を内蔵しているため、FTP/SFTPでファイルを受け取り、「ファイルが置かれたときに何らかの処理を実行する」という処理を実現することができます。※1

● ポイント

DataSpider Servistaなら、既存のFTP業務フローを変えずにデータ連携が可能です。

- **FTP/SFTPでファイルを受信し、クレンジングや変換が可能**

また、FTPトリガーを利用して受信したファイルの処理を自動化するなどの操作が可能です。

FTPトリガー

FTPサーバのファイル受信を検知してスクリプト実行する機能

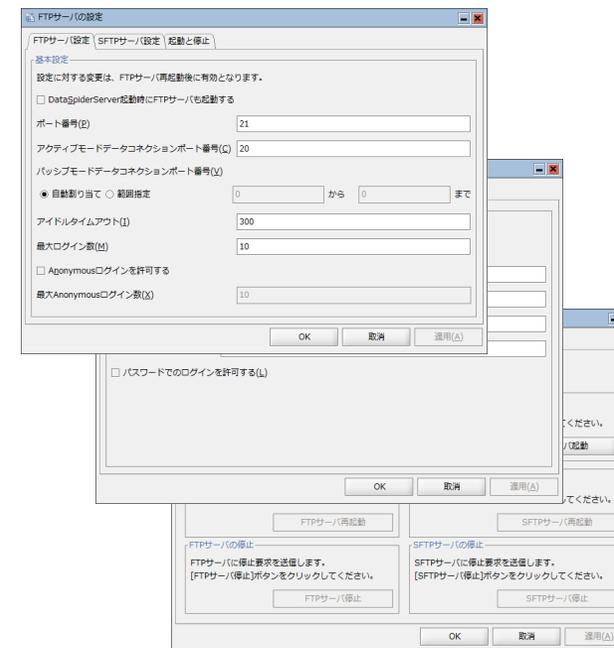
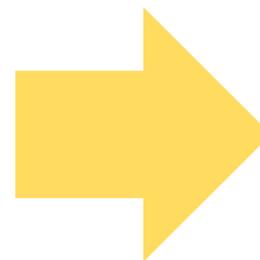
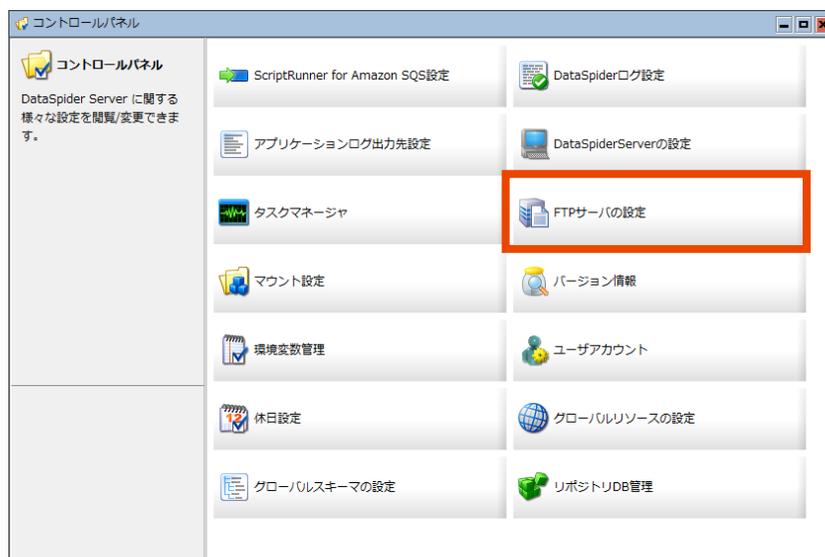
※詳細については「トリガー 紹介資料 DataSpiderServista」をご確認ください。

※注意事項

- DataSpider Servista Select ライセンス版とBasic Server Package 版には、標準ではFTPサーバは同梱されておりません。FTPサーバをご利用いただく場合は、FTP トリガーをご購入いただく必要がございます。

FTPサーバの設定

DataSpider Servistaが内蔵しているFTPサーバ機能の使用にはコントロールパネルより各種設定と起動が必要になります。

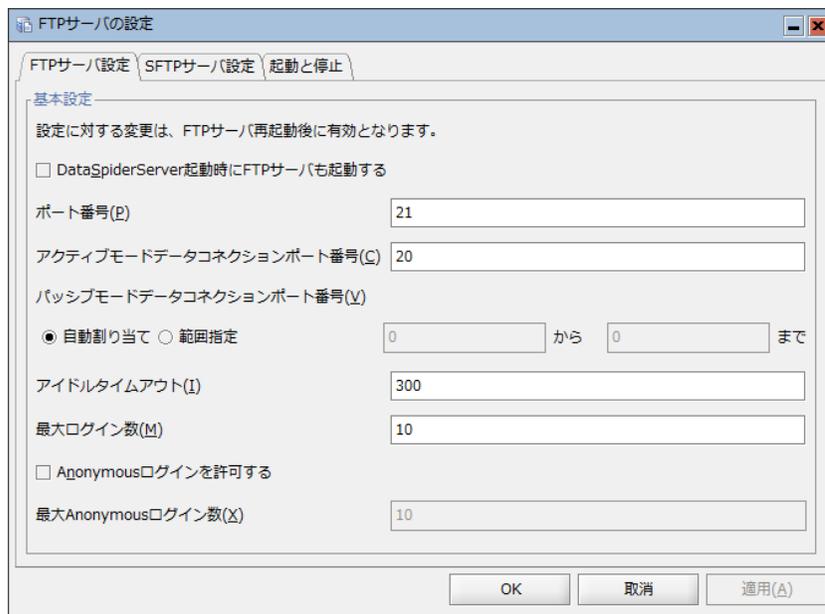


FTPサーバの設定機能一覧

タブ	機能名	説明
FTPサーバ設定	FTPサーバの接続設定	FTPサーバの接続設定を行います。
SFTPサーバ設定	SFTPサーバの接続設定	SFTPサーバの接続設定を行います。
起動と停止	FTPサーバの起動	FTPサーバを起動します。
	FTPサーバの再起動	FTPサーバを再起動します。
	FTPサーバの停止	FTPサーバを停止します。
	SFTPサーバの起動	SFTPサーバを起動します。
	SFTPサーバの再起動	SFTPサーバを再起動します。
	SFTPサーバの停止	SFTPサーバを停止します。

FTPサーバ設定 (1/2)

FTPサーバの設定に対する変更は、FTPサーバ再起動後に有効となります。不正な値が入力された場合、[OK]または[適用]ボタンを押下しても入力された値は反映されません。



The screenshot shows a window titled "FTPサーバの設定" (FTP Server Settings) with three tabs: "FTPサーバ設定", "SFTPサーバ設定", and "起動と停止". The "FTPサーバ設定" tab is active, showing the "基本設定" (Basic Settings) section. A note states: "設定に対する変更は、FTPサーバ再起動後に有効となります。" (Changes to settings are effective after the FTP server is restarted). The settings include:

- DataSpiderServer起動時にFTPサーバも起動する
- ポート番号(P): 21
- アクティブモードデータ接続ポート番号(C): 20
- パッシブモードデータ接続ポート番号(S):
 - 自動割り当て 範囲指定
 - 0 から 0 まで
- アイドルタイムアウト(I): 300
- 最大ログイン数(M): 10
- Anonymousログインを許可する
- 最大Anonymousログイン数(X): 10

Buttons at the bottom: OK, 取消 (Cancel), 適用(A) (Apply).

設定できる項目一覧

- DataSpiderServer起動時にFTPサーバも起動する
- ポート番号
- アクティブモードデータ接続ポート番号
- パッシブモードデータ接続ポート番号
- アイドルタイムアウト
- 最大ログイン数
- Anonymousログインを許可する
- 最大Anonymousログイン数

FTPサーバ設定 (2/2)

項目名	説明
DataSpiderServer起動時にFTPサーバも起動する	DataSpiderServer起動時にFTPサーバを起動するかどうかを選択します。 DataSpiderServer起動直後にFTPトリガーを使用する場合は、チェックを入れてください。
ポート番号	FTPサーバが使用するポート番号を入力します。 デフォルト値は「21」です。
アクティブモードデータ接続ポート番号	データ転送モードがアクティブモードのときに使用するポート番号を入力します。 入力できるポート番号は「1」から「65535」です。
パッシブモードデータ接続ポート番号	データ転送モードがパッシブモードのときに使用するポート番号を指定します。 使用可能なポート番号をランダムに割り当てる[自動割り当て]と、入力した範囲内で使用可能なポート番号をランダムに割り当てる[範囲指定]の2通りの方法があります。
アイドルタイムアウト	FTPコマンドもデータ転送も行われていないようなアクティブではない状態が続いたときに、セッションを破棄する時間を秒単位で入力します。 「0」を入力した場合、無制限になります。
最大ログイン数	FTPサーバにログインできる最大ログイン数を「0」から「2147483647」の間で指定します。最大ログイン数にはanonymousユーザのログイン数も含まれます。 「0」を入力した場合、無制限になります。
Anonymousログインを許可する	Anonymousログインを許可するかどうかを選択します。 Anonymousログインを許可した場合のanonymousユーザのパスワードは空になります。
最大Anonymousログイン数	Anonymousログインを許可した場合のFTPサーバにログインできるanonymousユーザ最大ログイン数を「0」から「2147483647」の間で入力します。 「0」を入力した場合、anonymousユーザのログインはできません。

SFTPサーバ設定 (1/2)

SFTPサーバの設定に対する変更は、SFTPサーバ再起動後に有効となります。SFTPサーバの設定で不正な値が入力された場合、[OK]または[適用]ボタンを押下しても入力された値は反映されません。

FTPサーバの設定

FTPサーバ設定 SFTPサーバ設定 起動と停止

基本設定

設定に対する変更は、SFTPサーバ再起動後に有効となります。

DataSpiderServer起動時にSFTPサーバも起動する

ポート番号(P) 7722

アイドルタイムアウト(I) 300

最大ログイン数(M) 10

ホスト鍵のパスフレーズ(K)

パスワードでのログインを許可する(L)

OK 取消 適用(A)

設定できる項目一覧

- DataSpiderServer起動時にSFTPサーバも起動する
- ポート番号
- アイドルタイムアウト
- 最大ログイン数
- ホスト鍵のパスフレーズ
- パスワードでのログインを許可する

SFTPサーバの環境設定

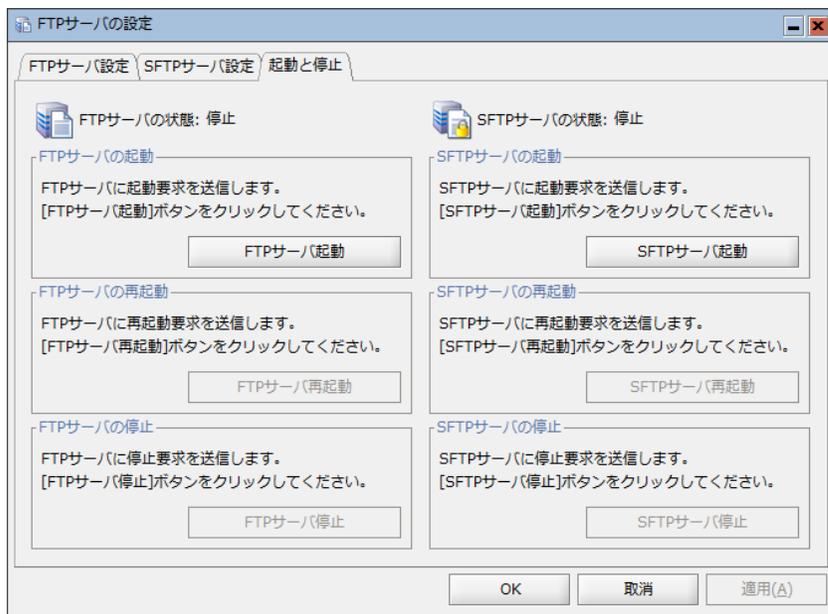
- **ホスト鍵**
SFTPサーバを使用するためには、ホスト鍵が必要となります。事前にホスト鍵を作成し、配置してください。
- **クライアント秘密鍵と公開鍵**
SFTPサーバに公開鍵認証でログインするためには、SFTPサーバに接続するクライアント環境ごとに秘密鍵と公開鍵が必要となります。事前に秘密鍵と公開鍵を作成し、SFTPサーバにクライアント公開鍵を登録してください

SFTPサーバ設定 (2/2)

項目名	説明
DataSpiderServer起動時にSFTPサーバも起動する	DataSpiderServer起動時にSFTPサーバを起動するかどうかを選択します。 DataSpiderServer起動直後にFTPトリガーを使用する場合は、チェックを入れてください。
ポート番号	SFTPサーバが使用するポート番号を入力します。デフォルト値は「7722」です。
アイドルタイムアウト	SFTPコマンドもデータ転送も行われていないようなアクティブではない状態が続いたときに、セッションを破棄する時間を「0」から「2147483647」までの秒単位で入力します。「0」を入力した場合、無制限になります。
最大ログイン数	FTPサーバにログインできる最大ログイン数を「0」から「2147483647」の間で指定します。 「0」を入力した場合、無制限になります。
ホスト鍵のパスフレーズ	ホスト鍵のパスフレーズを入力します。 ホスト鍵にパスフレーズが設定されていない場合は[ホスト鍵のパスフレーズ]を入力する必要はありません。
パスワードでのログインを許可する	パスワードでのログインを許可するかどうかを選択します。 許可しない場合は公開鍵認証でのみログインできます。

起動と停止 (1/2)

FTPサーバの設定に対する変更は、FTPサーバ再起動後に有効となります。不正な値が入力された場合、[OK]または[適用]ボタンを押下しても入力された値は反映されません。



設定できる項目一覧

- FTPサーバの起動
- FTPサーバの再起動
- FTPサーバの停止
- SFTPサーバの起動
- SFTPサーバの再起動
- SFTPサーバの停止

起動と停止 (2/2)

項目名	説明
FTPサーバの起動	手動でFTPサーバに起動要求を送信します。 [FTPサーバの状態]が「起動」の際は無効になります。 FTPサーバの起動が完了すると、[FTPサーバの状態]の表示が「起動」になります。
FTPサーバの再起動	手動でFTPサーバに再起動要求を送信します。 [FTPサーバの状態]が「停止」の際は無効になります。 FTPサーバの起動が完了すると、[FTPサーバの状態]の表示が「起動」になります。
FTPサーバの停止	手動でFTPサーバに停止要求を送信します。 [FTPサーバの状態]が「停止」の際は無効になります。 FTPサーバの停止が完了すると、[FTPサーバの状態]の表示が「停止」になります。
SFTPサーバの起動	手動でSFTPサーバに起動要求を送信します。 [SFTPサーバの状態]が「起動」の際は無効になります。 SFTPサーバの起動が完了すると、[SFTPサーバの状態]の表示が「起動」になります。
SFTPサーバの再起動	手動でSFTPサーバに再起動要求を送信します。 [SFTPサーバの状態]が「停止」の際は無効になります。 SFTPサーバの起動が完了すると、[SFTPサーバの状態]の表示が「起動」になります。
SFTPサーバの停止	手動でSFTPサーバに停止要求を送信します。 [SFTPサーバの状態]が「停止」の際は無効になります。 SFTPサーバの停止が完了すると、[SFTPサーバの状態]の表示が「停止」になります。



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。